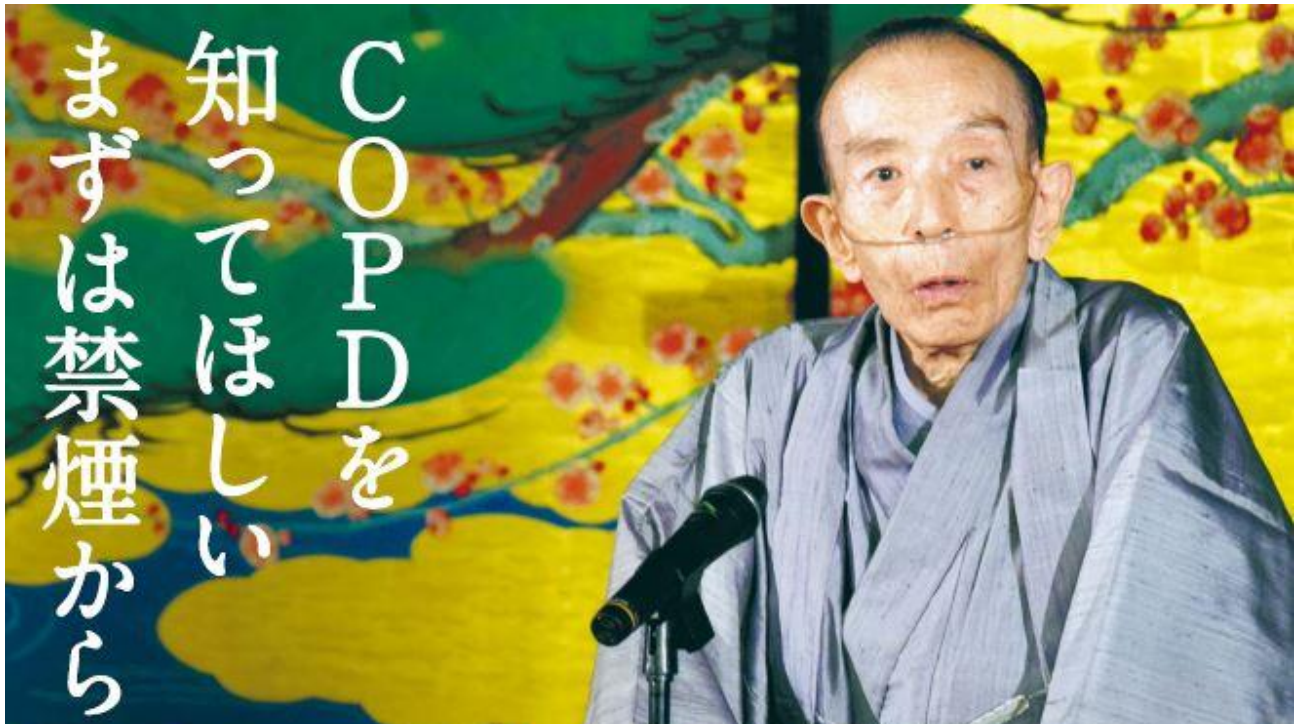


週刊 **タバコの正体**



2009年、COPD（慢性閉塞性肺疾患）と診断された桂歌丸さん。折り目正しい口調で高座をつとめ多くの人に愛された噺家は、万雷の拍手の陰で、重い呼吸器の病と向き合っていました。息苦しさを押しつけて酸素吸入チューブを装着し、高座へ上がる日々。それでも朗々たる声で生涯現役を貫き、18年7月に感謝の言葉を残して旅立たれました。晩年その苦しみを「息を吸っているのに入ってこない」と語った歌丸さん。闘病を支え続けた富士子夫人は、「お風呂や食事中が特につらそうで、息苦しきから肩で息をしていました」と振り返ります。長年の喫煙習慣によつて発症することが多いCOPD、あなたも呼吸器の健康を見直してください。

COPD 啓発プロジェクト ポスターから

「息を吸っているのに入ってこない」病気はCOPD（慢性閉塞性肺疾患）と呼ばれます。長年喫煙を続けた人の多くが、この病気にかかります。タバコで傷めつけられた肺は、十分な酸素を取り込めなくなるからです。

息ができない苦しさを想像してみてください、恐ろしいですね。そんな目に合わないよう「まずは禁煙から」というポスターです。

産業デザイン科 奥田 恭久

産業デザイン科 奥田 恭久

Zero Tobacco Project

In WAKO Since 2005

【COPDの症状】

